

箱根組ニュース

第365号 2023年 9月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

日光霧降高原の小丸山へ、1445段の階段は半分ほど迂回しても手ごたえは十分だった！

(前日の8月19日、土曜日、戸丸は数年ぶりに発熱した、一時37度8分ほどだった。夜は体の痛みと足のたるさでよく寝られなかった。中止も考えたが、朝になって体温は下がり、コロナの簡易検査では陰性で、何とか浅草駅にはたどり着いた。

帰宅後再び同じ検査をしても陰性で、心配はしたがどうやらコロナではなかったようだ。土曜日の仕事で車内のエアコンを長時間最強にされたのも悪かったのか、症状はどうやらクーラー病(熱中症)だったようだ。月曜日には普通に仕事に出かけられたので、土曜日の夜の苦しみはいったい何だったのかという感じだ。

というわけで、皆さんに心配をおかけしたが、病み上がりのリーダーは迷惑をおかけしながら日光に向かった。)。

8月20日(日)、午前6時30分発の特急リバイティーけごん1号東武日光行きに乗車。快適な特急列車は8時25分

東武日光駅に到着。降り立ったのは宗像夫人、川名夫人、和田、及川、戸丸の5名。昨夜の事情を話すとみんな心配そうに声をかけてくれた。

久しぶりの東武日光駅前。外は快晴、駅前の向こうに見える小さな山の上にはぼつかりと雲が浮かんでいる。日差しを避けて駅舎内のベンチで休憩しながら9時のバスを待つ。駅前にはゆば料理の店や土産店などが並んでいる。中禅寺湖や東照宮方面のバス停にはたくさんの人が並んでいるが、霧降高原のバス停には2、3人並んでいるだけだった。駅舎内のお店は開店準備で忙しそうだ。

少し遅れて9時発のバスがやってきた。始発かと思ったら数人が乗っていて、どうやらJR日光駅から来たようだ。

バスは快適に市内を抜けて山間部に入ってゆく。高度を稼いで霧降の滝などを経由して30分ほどで標高1300mの霧降高原バス停に到着。バスから降りるとさすがに涼しい。身支度をゆつくりとする。



9時40分過ぎ和田さん先頭で歩き出す。小丸山展望台までまっすぐ伸びる1445段の階段がある。手前側の半分は遊歩道が迂回してついているので階段を避けるようにジグザグにキスゲ平の草原をゆつくりと進んでゆく。まずは少し進んで、右に遊歩道を行くと小さな沢に架かる橋を渡る。

ニッコウキスゲはすでに終わっているようだが、それでも何かの花は咲いているだろうと期待しながら進む。

早速現れたのは「吾亦紅（われもこう）」「これ花なの？」と言いたくなるような、茶色がかった赤紫の細長い団子の

ような花が、枝の先に集まった花はなにか可愛く面白い。笹の中に

はリンドウの紫、

終わりかけのア

ザミの花には

蝶々が集まって

いた。アザミによ

く似たピンクの

花が咲いていた

が、よく見ると葉

っぱにトゲトゲ

がない。どうやら

「タムラソウ」だ、

収支	
繰越	18105 円
収入	5000 円
支出	
News/HP 作成費	500 円
当日プリント代	0 円
現在高	22605 円

スーッと細く伸びて、そして花は優しいピンク色だ。

9時54分、標高1397m地点。出発のバス停から230m地点。小丸山展望台までは残り590mだ。

白いトラノオが目立つ。

「いろいろなつつじ」という看板がある。季節にはつつじも見られるようだ。引き続き階段を避けて左方向に進む。

10時10分、大好きなマツムシソウに出会う。小さな蜂が蜜を吸っている。中心に

白い小さな花が密集し周りに薄紫の花びらが広がっている。虫を誘っているのだろう。凛として優しく立っている姿は美しい。

10時25分頃、これ以上

上は迂回路がなくまっすぐ

伸びる階段をゆつくりと登

って行く。標高は1495

m、小丸山展望台までは残り

180mだ。まっすぐ伸びる

階段は少し心が折れるが一

歩一歩登って行く。

左側に張り出して三つほ

ど展望デッキというのがあ

9月17日(日) 西丹沢の畔ヶ丸 (1292.6E)

レギュラーコース 約5時間25分
(上り3時間、下り2時間25分)

小田急線新松田駅からバスで西丹沢自然教室まで。東側には檜洞丸があるが、反対の西側にある山です。下山は大滝橋バス停に。山頂の展望はないが、沢の渡渉など丹沢の面白さがあります。標高の割には十分満足できるコースです。

○持ち物 お弁当、飲料水、カップ、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 9月15日(金)

集合 9月17日(日) 小田急線新宿駅
6時11分発 急行新松田行き
途中駅発

代々木上原 6:16 下北沢 6:19
経堂 6:22 成城学園前 6:27
登戸 6:30

新松田 7:29着 (バス乗り換え)
西丹沢自然教室行き 7:45発
8:56着

交通費 往復 電車 1,592 円 バス 2640 円
帰りのバス 15:47 17:12 19:07

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com
メール: tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

る。そこで休憩しながらまた登って行く。10時41分、1535m地点、小丸山展望台までは残り100mだ。バス停からは720m地点だ。左横に鮮やかな真つ赤で小粒の実をつけている木があった、後で調べたらどうやらガズミのようだ。霜が降りると少し甘くなり食べられる。まもなく鳥たちの餌になるだろう。

10時50分、最後の展望デッキを過ぎると看板がある。1566m地点だ。展望台まで30mだ。遠く上の方に黄色い花が二つ見えたが、もしかしたら最後まで残っていたニッコウキスゲか、それともマルバダケブキかもしれない。

11時前に展望台に到着。ガスも立ち込めているので展望台には登らずに、小丸山山頂を目指す。大きなビルなどにあるような形式の鉄製の網の回転扉。シカやイノシシを避けるための物だろうが、回転式は珍しい。これを超えるとすぐに小丸山山頂の標識が見える。

11時過ぎ、1601mの小丸山山頂到着。少し早いがここで昼食にする。丸山で昼食という計画だったが、病み上りの戸丸に免じて丸山をあきらめ、コースを短くして頂いた。昼食後階段でバス停に戻る往復コースに変更した。

丸山までは右方向であと20分ほど

だ。有名な女峰山はまっすぐ4時間20分ほどでたどり着けるようだがまだ行ったことはない。気になる存在だ。そこから尾根をたどっていけば何度か行っているあの男体山だ。

山頂はガスが立ち込め景色は見えない。標高もそれなりに高いので気温も平地よりはだいぶ低く、涼しいというより少し冷えてきた。小さなお子さん連れの家族や割と高齢のお二人など何人かがやってきた。

ビールで乾杯し、皆さんの持ち寄りの総菜もありいつものように楽しい昼食だ。ドリッポコーヒーで仕上げ。標識で記念撮影。

11時59分、ガスが立ち込める中、下山開始。まっすぐ下る階段を慎重に降りる。親子連れを待ちながらゆっくり下る。まだまだこの時間なので登ってくる人も多い。右側少し遠いところにマルバダケブキの黄色い花が目立っている。

1時過ぎ、レストハウスのあるバス停に到着。1時37分発のバスまでに時間があるのでゆっくりする。和田さんがソフトラームを食べているのでつられて買ってしまふ。

横に小丸山までの看板があり、各所にポイントが付いていて、Aから始まり小丸山展望台がRで18の地点にマーク

がついている。前半の迂回する地³点にもそのポイントが付いているのでわかりやすいと思う。

到着したバスで東武日光駅に向かう。30分ほどで東武日光駅着。まだ2時過ぎたばかりだが、戸丸は失礼してすぐ来た特急で岐路に着く。残る4人は駅周辺でゆっくりするようだ。

浅草駅について電車を降りると猛暑の東京だった。そして観光客であふれかえっていた。

皆さんにご迷惑をかけたが何とか霧降高原を楽しむことができた。



